

PM D患者の栄養摂取量について

国立徳島療養所

新 居 さつき 山 上 文 子
坂 口 久美子 新 山 喜 昭
神 山 南海男

私達は、PM D患者の栄養摂取量について50年度より調査をしてきました。今年度は、当療養所の調査例数だけでは統計的な推定が不確で、しかも地域的なかたよりもみられるので、この調査を全国的に行うことを計画しました。幸い各施設のころよい賛同を受け52年2月と7月に全国的な栄養調査を行いました。対象者は、当療養所で従来調査している患者と年齢、障害度など似かよった患者を選びました。献立は51年度に当療養所で使用したものを用いました。(表1)

表2は全国17施設で2月と7月に行った調査を集計したものです。123名を年齢別にわけ、それぞれの年齢の平均値を示しました。同年令の上段は2月の値、下段は夏の値を示しています。10~16才児では冬は1,300~1,500 cal、夏は1,300 cal、前後の値を示し、いずれ20~22才の人は、冬は1150~1300 cal 夏は1100 cal 前後の値を示し も夏に摂取量が減少しています。減少率は10~16才児では熱量8.6%、蛋白質8%、脂肪7.7% その他の栄養素もよく似た率で減少しています。20~22才までは熱量8%、蛋白質10.2%、脂肪9.9%と減少しています。全般的に摂取量は少ないが特にVit・B₁が少ないのは基準食において少ないためと思われ献立を作る際注意すべきと考えます。またCaも少なく病気からみてもっと多く摂取する必要があることから給与量をふやすことを考えたいと思います。

熱量摂取量を体重1kg当りにしたものをみるとやはり2月より7月の方が減少しています。この減少率は、10~16才児で11.9%、20~22才で8.4%となり、低い年齢層程高い減少率をみせております。これは夏による食欲減退と共に、低年齢層では、2月から7月の半年間に体重増加がみられ、逆に高年齢層では体重が減少(約2%)していることからこういう結果になったと思われる。低年齢層では標準値に近いか又は、少し高いものもみられます。

次に蛋白質を体重当りにしたものをみてみますと、熱量と同様な傾向を示し、やはり冬より夏に減少しております。

以上のことを総括してみますと、以前より当療養所で行っている栄養調査は全国的な栄養調査の傾向と一致していることがわかりました。当療養所では、栄養調査と同時に窒素出納も精密に測定しており、この窒素出納の値も一般に適応されると思います。この調査の結果は、筋ジストロフィー患者の栄養基準量の決定に大いに役立つものと考えます。今後微量栄養素、ビタミン類などを十分に組み込んだ献立で栄養調査を行い、さらに検討を加えたいと思っております。

表1. 基準食の献立と栄養価

一日目	みそ汁、浅漬 肉うどん、果物 カレーライス、サラダ	熱量 蛋白質 動物性蛋白質	1955 cal 78.0 g 49.4 g
二日目	パン食 やきとり、たらこ和え フライ、花かつを和え	脂肪 カルシウム 鉄 ビタミンA	57.6 g 637 mg 11.5 mg 1570 IU
三日目	みそ汁、佃煮 塩焼、盛合せサラダ だしまき卵、冷奴	ビタミンB ₁ ビタミンB ₂ ビタミンC	0.77 mg 1.25 mg 76 mg

表2. Nutrient intakes of PMD patients admitted in 17 institutions

Age	No	BW	Ener- gy	prot- ein	Anim- al prot	Fat	Ca	Fe	A	B ₁	B ₂	C	Energy BW	Protein BW
yrs		kg	cal	g	g	g	mg	mg	IU	mg	mg	mg	cal / kg	g / kg
10	(10)	23.5	1374	52.2	30.9	36.9	336	8.1	1336	0.53	0.81	54.0	59.8	2.28
		25.4	1346	50.5	29.4	37.2	347	8.2	1447	0.52	0.81	62.2	54.2	2.03
11	(21)	29.2	1425	54.6	32.4	39.4	358	8.5	1458	0.56	0.84	64.9	50.0	1.91
		30.5	1321	51.0	30.4	35.6	319	7.9	1400	0.52	0.78	65.9	44.0	1.68
12	(18)	31.2	1419	54.9	32.1	38.7	359	9.0	1653	0.54	0.82	82.7	47.0	1.81
		32.2	1327	53.2	31.9	37.1	336	8.5	1507	0.53	0.81	73.4	42.4	1.69
13	(21)	30.0	1352	53.7	32.6	38.4	350	8.5	1560	0.54	0.82	70.9	46.2	1.84
		30.3	1243	49.8	30.1	35.5	323	7.8	1367	0.51	0.77	65.4	42.1	1.70
14	(12)	33.8	1372	53.3	32.1	39.4	376	8.5	1385	0.51	0.84	65.6	42.8	1.66
		34.3	1231	47.5	28.9	34.8	330	7.2	1247	0.47	0.77	55.7	36.7	1.42
15	(11)	32.8	1473	56.6	33.7	42.5	388	8.9	1478	0.56	0.84	68.2	47.1	1.81
		32.6	1293	51.1	30.8	36.8	349	8.0	1350	0.51	0.81	56.0	41.2	1.63
16	(9)	36.8	1524	63.0	38.7	44.4	412	9.9	1858	0.62	0.93	92.2	42.4	1.75
		37.8	1316	53.3	32.4	36.9	333	8.3	1463	0.53	0.82	70.1	35.3	1.42
20	(9)	31.0	1295	54.9	33.5	38.4	370	8.9	1531	0.56	0.84	75.1	44.0	1.88
		30.0	1096	47.5	29.8	33.3	340	7.5	1336	0.47	0.77	65.1	37.9	1.64
21	(7)	33.5	1152	52.5	33.5	35.2	341	8.5	1605	0.50	0.78	79.5	37.0	1.69
		32.8	1152	49.5	31.5	32.6	306	7.5	1172	0.48	0.73	59.2	36.8	1.58
22	(5)	35.8	1266	54.2	34.0	34.9	334	8.6	1680	0.52	0.81	70.1	38.7	1.66
		35.6	1156	48.0	29.7	31.7	308	7.9	1370	0.47	0.74	65.4	34.5	1.47

↓
検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります
↓

私達は、PMD 患者の栄養摂取量について 50 年度より調査をしてきました。今年度は、当療養所の調査例数だけでは統計的な推定が不確で、しかも地域的なかたよりもみられるので、この調査を全国的に行うことを計画しました。幸い各施設のこころよい賛同を受け 52 年 2 月と 7 月に全国的な栄養調査を行いました。対象者は、当療養所で従来調査している患者と年令、障害度など似かよった患者を選びました。献立は 51 年度に当療養所で使用したものを用いました。
(表 1.)